



【サポーターカンファレンス議事録】

開催日：2024年1月14日(日) 10:00~12:00

場 所：八戸商工会議所会館 3階会議室

参加者：代表取締役会長 細越 健太郎

代表取締役社長 下平 賢吾

強化・地域連携担当 金井 隆太

【下平】

皆様本日はお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

事前に皆様から頂いておりました質問に答えながら、都度質問を頂戴し進行したいと思います。本日はよろしく願いいたします。

頂いたご質問の中にいくつか重複しているものもありましたので、まずはそちらを弊社細越よりご説明したいと思います。

【細越】

本日は皆様お集まりいただきまして誠にありがとうございます。それでは私の方からスタジアムおよびシーズン移行に関して、私の現段階で持っております情報をお伝えしたいと思います。

『スタジアムの要件について』

今のJリーグの要件ではプライフーズスタジアムはJ2のスタジアムの基準要件を満たしていない状況です。ただし、Jリーグの中では各地方クラブの意見も聞きながら、果たして今の要件がそれぞれのクラブの規模や現状と照らし合わせて、本当に適しているのかという点については議論が必要だという状況でもあります。検討内容は具体的には決まっていますが、人数の上限について地方クラブや地方の行政にとって本当に適正であるかという点も対象であると思います。その中で私どもは、あくまでも今のJ2の基準要件に則ったスタジアムについて行政や関係各所と協議はしております。私どもヴァンラーレ八戸だけで

はどうしても金銭面含め自前のスタジアム建設という事は難しいので、行政や関係各所と向き合っていくという点が必要であると思っております。現在でも暫定的ではありますが、J2 を戦えるライセンスを毎年取得しております。今後につきましてはサポーターの皆様も含め皆様の意見もお聞きしながら調整していかなければならないと感じております。

『シーズン移行について』

Jリーグの実行委員会には私が参加しております。昨年のJリーグの理事会にてシーズン移行は決定の方向で決議しております。シーズン移行と聞くと寒い時期の試合が増えて北国のチームは不利ではないかという点も言われますが、試合を行う期間としては今までのシーズンとほとんど変わりません。ただ、冬のオフの期間でのキャンプ開催、6月から7月にキャンプも行わなければならない、そういった費用が新たに掛かってくるという点、また選手たちはアウェイでの連戦が増えるといったことやコンディショニングの問題も出てくると感じております。Jリーグではそういった様々な課題にしっかり向き合って、リーグと各クラブが課題解決に向けて努力したいという話になっております。クラブとしてもそういった課題を解決することを前提に、今後の日本サッカー界がヨーロッパ諸国と肩を並べ、さらに発展したいという想いに賛同する面もありますので、Jリーグと一緒に課題を解決していきたいという立場で条件付きでの賛成としております。これはクラブだけでなく、高校や大学などの入学や卒業、学生の大会との時期の問題もあります。そういったところも含め、課題はこれから少しずつ解決されながら皆様に情報を発信していくことになるかと思えます。サポーターの皆様へもアウェイ連戦や、ホーム戦の連戦も大変なご負担になると思いますのでそういった点も解決していきたいと思っております。

【下平】

それでは以上の2点に関して質問があれば承ります。

【出席者】

『平日開催が増えるという事ですよね?』

【細越】

増えていくと思えます。Jリーグとしては冬の期間の降雪地域チームの負担がないようにしましようという事がありますので、そのバランスをとる中で平日に少し開催試合が増えていくという点もあると思えます。おそらく現在より2~3試合は平日開催が増えていくと思えます。さらに今シーズンからのルヴァンカップなどの開催もあります。勝ち上がりによっては日程調整も難しい問題になっていくと思えます。なんとかサポーターの皆様へも負担が少ないようにという話し合いもしていかなければならないと思っております。

【参加者】

『秋春制は開催確定という事だと思いますが、クラブが提示している条件がクリアできない場合クラブはどう動きますか？』

【細越】

シーズン移行に関して私どもは、様々な課題を議論し、解決していくというスタンスは変わりません。Jリーグも課題解決のための資金繰りやドーム型ピッチの設営など様々なアイデアを出しながら協議している段階です。クラブとして課題解決ができるか不安な面もありますが、ヴァンラーレ八戸もJリーグという組織を構成している一員ですので、Jリーグが定めた方針には従いながら、まず自分たちが解決できる課題に取り組みながら進んでいきたいと思っております。残された期間も2年半ほどしかありませんが、その時に課題をクリアできなかったという事がないように引き続き協議していきたいと思っております。

【参加者】

『秋春制に移行した際の集客についてはいかがですか？』

【細越】

現在でもホームゲームは3月中旬に開催しておりますが、それこそ平日開催の増加やホームゲームが重なる月、逆にホームゲームがない月などがあるかもしれないという面も否定できませんので、その中で何ができるのかという点はJリーグ含めクラブでもしっかり議論が必要だと思っております。

【参加者】

『スタジアムの基準緩和についてですが、プライフーズスタジアムの改修は可能でしょうか？』

【細越】

そもそもプライフーズスタジアムは八戸市の所有物でございますので市との協議も必要です。改修が可能なのかという点も含めこれからも話し合いが必要でございます。新スタジアムの建設も現在でも話はしておりますが、具体的な場所や規模などの話はありません。

【参加者】

『秋春制についてですが、クラブが示している条件というものは具体的にはどのようなものでしょうか？』

【細越】

Jリーグチェアマンもお話しておりますが、冬の練習環境、キャンプ等への助成、八戸はそこまで問題ではありませんが陸上競技場を併設しているスタジアムがホームスタジアムのチームはそういった他団体との調整に苦慮しているチームもございます。こういった点をしっかり議論しながらシーズン移行へ進めていきたいと思っております。もう一つの問題はシーズン移行前の2025シーズン後の半年の期間をどうするかという点も大きな課題として議論されております。

【下平】

続いて、事前にいただいたご質問にお答えさせていただきます。

『雨の日に大きめのビニール袋を配ってほしい！福島ユナイテッドで配っていてとても助かったの。』

【下平】

ご意見ありがとうございます。とても良いアイデアだと思います。作成費等々ありますが、検討させていただきたいと思います。

『試合中や試合前後、ハーフタイムでの大型ビジョンの有効活用を考えてほしい。例：今まではチャンスの時に CLAP 動画が流れているが、実際のリズムと違うタイミングで手を叩いている動画なので、メッセージと画像（イラスト）のミックスでシンプルにしたほうがよいのでは？ 選手入場→タオルを掲げよう！ チャンス→手を叩け！タオルを回せ！ など、スタジアムが盛り上がるような煽りを、ビジョンを最大限活用して表示してほしい。』

【下平】

ご意見ありがとうございます。クラブ動画に関しては変更する予定で動いております。その他もアイデア頂戴しながら変更できるところは変更いたします。

『試合中のメンバー表示の背景が緑のため、番号などが見えづらい。そこは見やすいことを最優先に考えて黒背景でいいのでは？ピッチ内アップの際に、特にゴール裏はシュート練習でボールが飛んでくるので、アニメーションや動画での注意喚起が必要と感じます。（アナウンスだけでは聞いていない人が多いため、より注目される方法で注意喚起）試合途中のスタッツなども表示されると、尚良いかと思えます。』

【下平】

いつも来ていただいている皆様のご意見はとても貴重です。試合中にできることとできないことを精査しながら、我々のマンパワーの問題もありますので出来る範囲で改善していきたいと思います。

『大宮など、アウェイからくるサポが増えていく中で選手バス待ちの時間、場所をずらしてもらえないでしょうか?(サポ同士の衝突、混雑緩和のため)』

【下平】

会場入りの時間は監督や現場の考えもありますが、調整しながら情報を発信させていただきたいと思います。

『ホームタウンサンクスデーのチケットですが、当日販売出来ないのでしょうか。 ホームタウンと連携して、町内放送でのお知らせや広報にチラシを入れてもらおうと、もっと沢山の人が知ってもらえるのかなと思います。』

【下平】

サンクスデーチケットは無料となっており、数に限りがあるという点もありますので前日までの締め切りとさせて頂いております。

『サポーターカンファレンスについて、カンファレンス前に頂いた質問意見を事前に回答にホームページに回答しないのか。新潟は事前にホームページで回答して、その後、カンファレンスでチームとファンが議論する形である。八戸でも質問意見が多数なら事前に回答して、カンファレンスの2時間を議論する場にしてはどうか。』

【下平】

ご意見ありがとうございます。

今回準備の関係でできませんでしたが、参考にさせていただき検討致します。

『スポーツクラブとの業務連携について青森ワッツと業務提携はしないのか。長崎はジャパネットグループにサッカーとバスケのチームがあり、一緒にパブリックビューイングも行っている。札幌でも会社を作り、北海道のバスケやバレーチームと業務提携をしている。そこで、ワッツと提携することで、バスケのスポンサーや顧客を獲得できたり、スタッフが行き来することで、パートナーの情報交換や新しい事業提案や会場設営の費用を抑えられるのではないか。』

【下平】

ご意見ありがとうございます。

ワッツさんとはスタッフ同士の交流はあります。

八戸市スポーツコミッションの中での連携となると思います。

『カクヒロスタジアムの試合について青森市にある県営の新しい競技場で試合を行わないか。今年はJリーグ30周年記念と都心へのPRも兼ねて国立競技場で試合を行った。青森市や津軽地域のパートナー、顧客獲得のためにカクスタ開催は必要ではないか。カンファレンスでサポーターに聞いてみるのもどうか。』

【下平】

ご意見ありがとうございます。ホームタウン内で80%の試合を義務付けられていますが、20%の範囲内であればホームタウン外でも開催は可能ですので、規則的には開催できません。現状を申しますと、2026年国体開催の為、改修工事があり、利用が制限されています。ラインメール青森さんもここ数年は陸上競技場で数試合しか開催できていないようで、球技場で開催しているのが現状です。現状を把握しながら我々にとって何がベストなのかを模索して進めて参ります。

『試合後のアンケート、投票による顧客情報管理について、マッチデープログラムにアンケートのQRコードをつけないか。京都のバスケチームはアンケート協力で、抽選でVIPシートのチケットを配布している。アンケートで不満を取り除き、顧客データも管理できる。または手紙ポストを作ったり、試合で印象に残った選手に投票して投票1位の選手からファンにプレゼントや誕生日に無料チケットを送ってみてはどうか。そして顧客情報を管理してSNSのフォローや会員勧誘、グッズ販売、集客の勧誘の営業ができることが大事である。』

【下平】

ご意見ありがとうございます。アンケートについては既に実施しておりますが、答えていただいている方に何か特典をつけているわけではないので、事業部内で検討致します。

『託児所について託児所付きのチケットはできないか。浦和にはファミリーシートがあり、子どもの遊び場がある。バスケの福島はサブアリーナに無料の託児所がある。そこで、管理棟内に託児所をつくり、保育を学ぶ大学生に協力してもらい、親が観戦できる環境を作りたい。また人工芝で幼児に運動遊びしてくれると助かる。』

【下平】

ご意見ありがとうございます。

管理棟内に託児所は試合運営の諸室に空きがない為、難しい状況です。

ただ、子ども達が遊ぶ場はまだまだ必要だと思いますので、参考にさせていただきます。

人工芝は年間で他のチームや別年代の大会・練習が決まっております。

『座席名について、芝生席やメイン席をネーミングライツにして売り出さないか。サッカーではカテゴリー名で分けているが、横浜や広島の野球場には座席に企業名をつけている。そこで座席名やゲート名や駐車場、広場などをパートナー名として売り出して、スタジアムの施設に対して愛着を持たせることはできないか。』

【下平】

ご意見ありがとうございます。八戸市多賀多目的運動場は八戸市の所有です。その中で天然芝球技場をプライフーズが命名権を持っています。天然芝球技場に広告を出せるのは試合時のみです。駐車場、広場等々への命名権は八戸市にあります。

『壮行会、前座試合について、高校サッカーや中体連など公式戦や開会式を前座試合で行えないか。福島のバスケチームはウインターカップ福島県決勝をプロチームの試合前に行っていた。また山形ではサッカー競技だけではなく、全国大会出場の高校生の壮行会も行っていた。岩手のバスケチームは全国大会前の壮行試合も行っていた。地域のスポーツ資源を使って、応援できる場を作ったり、ファンにスポーツ全般への関心を持ってもらうために有効はないか。』

【下平】

公式戦を開催するのはスケジュール、諸室の問題で難しいところがあります。開会式、壮行

式、壮行試合は実施出来る可能性はあります。今現在、私達が行っているのはパートナーの冠試合で小学生の大会を行っています。

『パートナー対抗運動会について、人工芝で自治体、マスコット、大学生や健康保険組合、パートナー企業説明会ブースなどは行えないか。山形は大人の運動会を企画したり、新潟は試合の時に企業説明会を行った。パートナーの福利厚生、社員採用のPRにもなり、その後試合観戦に来てもらうことはできないか。』

【下平】

前段でも説明しましたが、人工芝でのイベントは難しい状況です。その他のご意見は、我々も考えていた所でしたので、参考にさせていただいて生かして活きたいと思います。事業部内でも運動会まではいきませんが PR ブース等の企画は出ておりましたのでそういったことも含めて検討していきたいと思います。

『チケットについて、チケットの種類は増やせないか。新潟のように 5 枚回数券で仲間とシェアできるチケットや、青森ワッツのように試合当日、料金を支払うと、A 席に変更できるバージョンアップチケット。鹿島のようなイチゴ付きのチケットなどがある。』

【下平】

ご意見ありがとうございます。参考にして検討させていただきます。

『飲食回数券について、お酒の回数券はないか。鹿児島は 1,000 円で 3 杯焼酎が飲める（せんべろ）がある。岩手のバスケットチームは開幕戦に地元のビールやワインを振舞った。八戸にも地元のワインや日本酒があるので、1,000 円で飲める企画を作ったり、ラーメン博やコーヒータムなど 1,000 円回数券での対応ができないか。』

【下平】

ご意見ありがとうございます。出店者と相談して検討してみます。

『勝利後のアナウンス、割引について、勝利した後のチケット割引や会員勧誘はないか。勝利した後はファンが一番感情が高鳴り、次回も観戦したいという意向やグッズやチケットの購買意欲も上がると思われる。またバスケの福島は勝利後チケットの割引がある。そこで、

使用後、電光掲示板にグッズやチケットの割引情報や、会員入会で無料チケット付きと告知してみてもどうか。』

【下平】

ご意見ありがとうございます。勝利した後、ビクトリーセールでグッズの割引セールを行っております。告知が不足していると思いますので、注力していきたいと思っております。

『食のイベントを2週連続や試合前日の土日もできないか。今治は開幕から5試合や最後の4試合をスペシャルマッチウィークとしてやっている。また試合毎にイベントを企画することは大変であると考え。さらに出店者の方も人工芝でイベントがあった場合、売上が期待できるので、2週連続や2日連続でイベントを開催できないか。』

【下平】

今治の方法は我々も勉強させていただいておりました。マンパワーの問題や労働時間の問題がありますが、出来る限りでのチャレンジをしたいと思っております。

『スタジアムコンシェルジュを配置しないか。浦和ではウェルカムシートがあり、新規用のグッズがあり、コンシェルジュもいる。コンシェルジュは後援会のボランティアで、選手、イベント、グッズ情報を説明してくれる。また大阪のUSJにはMMPという、スタジアムが顧客に声をかけ、施設内の案内や不安な事を聞いて、おススメを紹介してくれる。そこで、コアサポーターや応援団、大学生の中からコンシェルジュとして、積極的に広場やゲートで顧客に話しかけて、おもてなしできないか。』

【下平】

ご意見ありがとうございます。コンシェルジュの配置ですが、この役目をボランティアスタッフや弊社スタッフが行わなければならないと思っております。大学生との連携については前段でもありましたが、検討して参ります。

『八戸の飲食店情報について、パートナーの飲食店、銭湯などの紹介できないか。山形はイヤブックに中心部の飲食店を紹介している。アウェイの方に飲食店の情報提供ができ、パートナーの広告価値もあがる。そこで、試合後のチラシ告知やマッチデープログラム、ホームページの試合情報に飲食店、銭湯情報も掲出できないか。』

【下平】

ご意見ありがとうございます。掲載していただける飲食店とのパートナー契約も含め、検討していきます。

『イベント内 BGM について、広場内で選手の好きな音楽のプレイリストを BGM として流せないか。野球は打席前に選手推しの音楽が流れる。福島のバスケットチームは BGM を一般の方から募集している。そこで、試合前日に選手が好きな音楽、試合前に聞く音楽プレイリストを発表して、BGM を流して、選手と一緒に戦うような気持ちになれる演出はできないか。』

【下平】

ご意見ありがとうございます。マッチデーパートナーや場外のイベントとの兼ね合いがあります。著作権の問題もあります。選手全員流せない可能性があり、公平性が保たれるかが心配です。

『ステージイベントについて、ステージイベントを増やせないか。新潟、岐阜は自治体 PR や選手トークショーがある。八戸も各自治体の招待試合があるので、観光イベント PR、物産品の告知、幼稚園や大学生の発表会、サポーターのチャント、ラジオ公開録音、八戸ナリキリ音楽祭など、ライト層も声を出して踊れたり、一体感が味わえるものを作れないか。』

【下平】

ご意見ありがとうございます。参考にさせていただきます。
今後もスタジアム外のイベント充実に注力します。

『スポーツチーム対抗運動会について、スポーツチームと一般の方で運動会はできないか。奈良市には奈良市主催でエンジョイスポーツ大作戦とあって、運動会とサイン会がある。スポーツコミッション八戸と組んで、ファンと選手が楽しい時間を作るようなイベントはできないか。または八戸、弘前、青森のスポーツチームが主催となってファンと協同で運動会はできないか。』

【下平】

ご意見ありがとうございます。運動会自体は以前、ファン感謝祭で実施したことはあります。他のチーム、自治体、外郭団体と協同でできるかは検討させていただきます。

『クリスマスについて、子どもたちにイベントはできないか。川崎は病院に選手がサンタと

して、プレゼントを渡している。契約の問題などがあるかもしれないが、クリスマス2週間前でもいいので、子どもたちのためにイベントはできないか。』

【下平】

ご意見ありがとうございます。とてもいいアイデアだと思います。リーグ戦の状況を見極めて前向きに検討したいと思います。

『マスコットや監督のお面について、マスコットや監督の顔のお面を作成して、ハロウィンイベントをしてみてもどうか。盛岡では秋田豊のお面を作ったり、広島のパスケチームは選手のお面を販売している。また松本ではマスコットの顔を告知チラシとして配布したり、岐阜は春にハルウィンという名でイベントをしていた。そこで、県内の他のマスコットのお面も作ったら、子どもも喜ぶし、本格的な仮装もせず、監督のお面をつけたりして大人も楽しめるのではないか。』

【下平】

ご意見ありがとうございます。仕入れ値・ロットの関係で厚紙でのお面販売は計画中でした。

『パブリックビューイング(PV)は開催しないのか。秋田ではイオンモールで行ったり、福島のバスケチームはW杯の壮行試合もPVで行っている。また松本は信州のBリーグのPVも行っている。新規の顧客獲得なら、ピアドゥやイオンモール下田などの一般の方もみれるようなところで必要である。また最終戦の無料チケットの申込が多い十和田、三沢市内でも開幕戦、最終戦前後に必要なではないか。さらに日本代表の試合をPVでひらいて、大勢で観戦することが楽しいと植え付けることはできないか。2024年はアジアカップもある。』

【下平】

ご意見ありがとうございます。日本代表のPVにも権利が発生致します。また、J3リーグのパブリックビューイングにも費用が掛かります。また前段でもありましたが、マンパワーの問題や労働時間的问题があります。状況を見極めながらポイントで実施を検討したいと思います。

続いて、ご参加いただきました皆様からご質問がございましたらお受けいたします。

【参加者】

『2024 シーズン J3 リーグのメディアでの放送の予定は決まっているのでしょうか？』

【細越】

配信は行う予定です。DAZN での配信はある程度決まっていますが、現状で具体的に穴氏ができる状況ではありません。

【参加者】

『パブリックビューイング (PV) は個人で行う場合は可能ですか？』

【細越】

PV の重要性は認識しております。SNS でのコメントや会場の熱気はクラブに大きく響きますので、開催したいという思いはあります。J リーグからの分配金というものがあり、DAZN への入会数も密接にかかわってきます。個人の方には DAZN にご入会いただく事をクラブではお願いしながら、重要な試合、例えば昇格がかかった試合などでは弊社で PV の開催も検討したいと思っております。

【参加者】

『バス待ちの問題についてですが、アウェイとホームのバスが到着する際にサポーター同士のトラブルへの対策の為に何か案はありますか？』

【下平】

運営担当者とも協議して対処いたします。

【参加者】

『バス待ちの人数が増えることについてはいかがですか？』

【細越】

大歓迎です。

【参加者】

『先行入場の時間と選手バス待ちの時間が同じで選手バスを待ちたいのですが、入場の列

に戻らなければならないという問題があります。到着の時間を先行入場の時間とずらすことは可能でしょうか？』

【下平】

アウェイチームとの兼ね合いもありますが、できる限り到着時間の情報開示はさせていただきます。

【参加者】

『アウェイ観戦の際の選手バス到着の時間も教えてください。』

【下平】

弊社の運営とアウェイチームの運営担当者間の話の中で決まることでもあり、アウェイはアウェイチームの決まり事もありますので、可能な限り情報共有させていただきます。私どものチームに関しては、到着時間の設定等は可能と思いますので、できる限りの情報共有いたします。

【参加者】

『ヴァンラーレの専用のバスがないので、アウェイチームが来たのかホームチームのバスが来たのか判断できないことがありますか？』

【下平】

サポーターの皆様がしっかり判断できるように時間の調整も含めて情報発信致します。

【参加者】

『スタジアム内の警備についてですが、強豪チームや過激なサポーターがいらっしやっただ際の対処や対策について、サポートスタッフとフルキャスト様だけでは対処しきれないのではないかと考えております。イベントの警備に特化した企業様の力を借りるということも必要ではないでしょうか。』

【下平】

警備の問題は私どもの中でも考えておりました。皆様が安全安心に試合を観戦できるようにできる事は行っていきます。その際はサポートスタッフの皆様ともご相談させていただきます。と思います。

【参加者】

『昨シーズンの集客の課題があれば教えてください。』

【下平】

昨シーズンは1試合平均1890名の集客となりました。2000名平均を目標としておりましたが、天候も含め様々な課題がありました。場外イベントも含めて、皆様への周知や企業様、団体様との連携もより密にしていく必要があると考えております。今シーズンに関して言うと、子供たちの招待試合というものも企画しております。

【参加者】

『サポーターに集客についてのお願いや要望はありますか？』

【下平】

皆様いつも観戦に来ていただいておりますので、これ以上何か求めるという事はないです。

【細越】

いろいろな方のご意見も頂戴しておりまして、昨シーズンホームゲームでなかなか勝てなかったという事も要因かと思えます。チームの勝利が集客に直結しますので、そういった勝てるチームに成長していかなければならないと思っております。勝った瞬間の感動を味わうことで、お友達を誘いやすかったり、また来たいと思えると思っておりますので、チームの強化含めて私どもは勝利を求めていきたいと思えます。

【参加者】

『昨年岐阜の試合に行ってきましたが、駅からスタジアムに向かうまでに多くののぼり旗が立っておりました。雰囲気醸成という面でもとてもいいなと思えました。八戸でもそういったことができたらいいなと思っております。現在もスタジアムのフェンスに試合日の情報なども張り出ししてくれておりますが、見やすくはないと感じています。試合日の何日か前からでももっと大々的にのぼり旗含めてスタジアム外でもそういったことができたらいいなと思えます。サポーターも手伝いますので盛り上げていきましょう。』

【下平】

のぼり旗を作成する費用も含めて課題はありますが、おっしゃる通りで大々的に展開することも必要であると思えます。ぜひ一緒に盛り上げていただけたらと思えます。

【参加者】

『昨年だと T シャツの配布は大きな集客に繋がりましたか？』

【下平】

パートナー様のご協力であるような企画が実現しました。今後にも繋げていきたいと思っております。

【参加者】

『ポスター掲出活動についてですが、サポーターが掲出したリストをクラブスタッフにお渡ししていますが、掲出後にクラブからの何かしらのフォローがあると良いと思っております。』

【下平】

ご意見ありがとうございます。対処いたします。

【参加者】

『ユニフォームについてですが、作成してサポーターに渡るのがなぜリーグ開幕戦ではなくホーム開幕戦なのでしょう？リーグ開幕から同じユニフォームで戦いたいと思ってるサポーターも多いので何とかして頂けたらと思います。他のチームではリーグ開幕に間に合うチームも多くあります。』

【下平】

ユニフォーム作成には様々な期限があり、その中で作成しております。他のチームが早い要因はユニフォームスポンサーの決定が大きく関わっていると思います。私どもにとってユニフォームパートナー様のご支援は本当に大きな収入でございます。最後の最後、ぎりぎりまで調整を重ねてご支援いただいている企業様もあります。

企業様のサポート決定の時期というものもありますので、そういった要因で遅れてしまっているという面もあります。皆様のおっしゃる通りなんとかリーグ開幕に間に合わせたいという思いもありますが、現状ではホーム開幕戦に間に合うようにという事になっております。今後解決しなければいけない課題でございますし、秋春制移行の問題とも密接でございますので、今後解決のために努力させていただきたいと思っております。

【参加者】

『ファンクラブ会員についてですが、もっとライト層の方が入れるような、1000円や2000円のグレードがあってもいいのかなと思います。スタジアムに来た友人などにもおススメしやすいかなと思っております。』

【下平】

オレンジ会員とのバランスもありますので、そういった点も含めて事業部内で協議したいと思います。

【参加者】

『アウェイにいった時にマスコットキャラクターのポスターが貼ってあり、選手のポスターだと毎年変わってしまいましたが、マスコットだとずっと貼っていても問題ないのでそういったことも検討頂けたらと思います。』

【下平】

貴重なご意見ありがとうございます。とてもいいと思いますので参考にさせていただきます。ありがとうございます。

【下平】

最後にいつも応援頂いている皆様へ私からお話したい点がありました。

- ・選手のチャントやコールの仕方を新規のサポーターに教えることはできないか？
- ・タオルを回す動く応援も必要ではないか？
- ・スタジアムDJとのコール&レスポンスの応援も必要ではないか？

という質問をいただいたのですが、クラブがなにかいう事ではないかなと思い、サポーターの皆様との話し合いの中で決定していきたい事案でありました。もし可能であれば、サポーターミーティングなどがありましたらそういったお話もして頂いて進めていただくのがいいのかなと思っております。クラブとしてもできる事はしますのでサポーターの皆様主導でのお話し合いを一度お願いしたいと思っております。

それでは本日は貴重なご意見を多数いただきまして誠にありがとうございます。ご意見を参考にしながら、クラブの運営に活かしていきたいと思っております。本日は誠にありがとうございました。